

漁海況 情報

令和5年(2023年)10月6日 第17号(通巻760号)

山口県水産研究センター 外海研究部

〒759-4106 山口県長門市仙崎2861-3

TEL 0837-26-0711 FAX 0837-26-1042

E-mail a16402@pref.yamaguchi.lg.jp



海鳴りネットワークURL <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

2023年度 第3回 日本海海況予報

◆本予報は、青森県から山口県までの水産関係機関も加わって検討し、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所がとりまとめたものです。(以下、山口県関係の箇所を一部抜粋して記載)

◆今後の見通し(2023年10月中旬~12月)

◇対馬暖流域の表面水温は「かなり高め」で経過する。

現況での表面水温が全般に「かなり高め」の傾向であり、かつ水深50m水温も「やや高め」と予測されているため、対馬暖流域の表面水温は「かなり高め」で経過すると考えられる。

◇対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに「やや高め」で経過する。

水深50m水温偏差は、2023年6月から9月にかけて、西部は1.59→1.25、北部は1.64→0.78と、両海域とも「かなり高め」から「やや高め」で推移した。

現況(9月)は、表面水温が「かなり高め」傾向、上流域の東シナ海の水温も高め傾向であることから、貯熱量は維持されると推測される。

したがって、対馬暖流域の水深50m水温は、西部及び北部ともには「やや高め」で経過すると考えられる。

